

終わりになき図書館ジャーニー vol. 14



浜中町総合文化センター図書室

このコラムの読者は『ルパン三世』を知っている世代が多いかと思います。ではいつどのようにルパン三世は誕生したのでしょうか？

モンキー・パンチ(本名:加藤一彦)氏は 1937 年、浜中(はまなか)町で生まれました。1967 年『週刊漫画アクション』誌の創刊号から『ルパン三世』の連載が始まり、1971 年アニメ化されました。エンディングテーマ「♪足元に絡みつく、赤い波を蹴って..」この曲が大好きでした。

浜中町の職員と名刺交換すると、その名刺にはルパン三世のイラストが描かれています。町内全体ルパン三世だらけ。乗車した列車にはルパンファミリーのラッピングが！そして浜中町の浜中駅と茶内(ぢゃない)駅にはメンバーがパネルでお出迎えしてくれます。バスもハイヤーもラッピングされています。

霧多布温泉ゆうゆの土産店にはグッズがてんこ盛り。入浴する際の暖簾は男性風呂がルパン、女性風呂は不二子ちゃんのシルエット。

浜中町は釧路より更に東に位置する太平洋に面した人口約 5300 人の町。今回私は根室中標津空港まで飛び、バスで根室市の厚床(あつとこ)駅まで移動。そこから JR を使って浜中町の茶内駅で下車。さらに浜中町営バスで図書室や役場のある市街地に向かいました。途中、霧多布(きりたつぷ)湿原を横切る景色はとても美しい眺めです。

町営バスのドライバーは、いつでもどこでも親切で、「どこに行きたいの?」と聞いてくれます。すると、「それなら目的地の前で止めるよ」とか言ってくれます。奥尻町でもそうでした。本当にありがたいです。帰りまで心配してくれるドライバーもいるほど。今回も宿の前で停車してくれました。

「モンキー・パンチ・コレクション」というルパン三世を中心としたギャラリーが、市街地の中心に位置する浜中町総合文化センターに入っています。ルパン三世の愛車「FIAT500 チンクエチェント」の実車が施設入口付近に展示されています。

モンキー・パンチ氏は、浜中町のためにキャラクターを使って町を盛り上げてほしいと言っていたそうです。

さてギャラリーは入場無料でモンキー・パンチ氏の書斎の再現など見応え充分！その隣に図書室があります。もちろんルパン三世コーナーもあり、コミックがずらっと配架されています。ルパン三世のコミックが借りられる図書館は珍しいのでは？

図書室は近年、改修によって書架を全て新しくし、除籍をかなり行ったそうです。雑誌も二冊がないということで購入をやめています。地元の書店とは書籍の購入だけでなく、文具の購入を含めてフルに活用しているとか。それでも新刊情報を得るために釧路の大型書店に調査へ行くこともしばしば。ルパン三世コーナーの隣に「人権に関するコーナー」が常設されており、何だか奥深いなとぼんやり考えました。

今回、霧多布岬には行くことができず、この地域に生息しているラッコは見られませんでした。滞在した民宿から素敵なサービス。事前にお願ひすると無料でランチ用おにぎりを1つ用意してくれます。どっしりとした丸い塩むすび。優しさとほっこりした気分で、バスが来るまでの時間に、美味しくいただきました。

2024年10月訪問
加藤 重男